

2025 教室・講座・イベントの成果報告

主 催 者 名	神奈川県青少年科学体験活動推進協議会・子ども科学探検隊			
題 名・副 題	温暖化と海の間係を学ぼう ～熱気球の実験もやるよ～			
月 日・時 間	2025年8月20日(水) 14:30～15:50			
開 催 場 所	神奈川県環境科学センター			
部会・講師名	会員教室 浜辺謙吉	参加数	14名	講師数 3名



二酸化炭素と石灰水の反応実験



海水に対する二酸化炭素の溶解と pH の変化

神奈川県青少年科学体験活動推進協議会が主催する講座、「子ども科学探検隊」が神奈川県環境科学センターにおいて開催され、この講座の中で、「温暖化と海の間係を学ぼう」と題した教室を当会にて行いました。

この講座は、始めに環境科学センター施設内の科学探検授業が行われ、続いて「温暖化と海の間係を学ぼう」教室が行われました。参加者数は、小学校3年生と4年生が最も多く、次いで5年、6年、中学1年生も1名参加、暑さにもかかわらず昨年の2倍になり、関心の高さがうかがわれました。

最初に、今年の最高気温を記録した群馬県伊勢崎市の地理的特徴、横浜市と京都市の7月の気温の推移、温暖化の原因と温室効果ガス、赤外線的作用について概説しました。続いて、海の間係として、海草や海藻、マングローブ、干潟の生態系が光合成によって、大気中の二酸化炭素を取り込み、海底へ固定化しているブルーカーボンについて説明しました。また、海水の酸性化が甲殻類やサンゴの生育に悪影響を及ぼすことを学びました。熱気球を飛ばす実験では、気体が温まると軽くなることを体験しました。二酸化炭素の実験では、石灰水との反応、水に対する溶解性、海水に対する可逆的な溶解と pH の変化、空気との重さの比較、入浴剤から発生するガス調べ等を体験しました。